



・・・かつて、終戦後の満州に取り残された日本人を救うため
命がけの使命を果たした男達がいた

ポール邦昭丸山氏 講演会

「満州からの脱出 一邦人帰国実現の背景」 & 「語り部」引き揚げ体験談

5月29日（日）午前10時から正午まで
阿智村役場コミュニティ館2階ホール

参加無料でどなたでもご参加いただけます

主催：満蒙開拓平和記念館事業準備会

後援：阿智村

終戦後、旧満州には満蒙開拓団員など百数十万人の日本人が取り残され、飢えと寒さと疫病で多くの人々が命を落としました。この窮状を救い、本国帰還を果たすためにと、昭和21年春、現地の日本人組織の中から3人が命がけで大混乱の旧満州を脱出し日本に上陸、GHQ（連合軍総司令部）のマッカーサー総司令官に直訴するなどし、遼寧省葫蘆（コロ）島港からの引き揚げ開始に尽力しました。その3人のリーダー格であったのが、飯山市出身の丸山邦雄氏でした。

ポール邦昭丸山氏は邦雄氏の三男で、今回来日されるにあたり、父親の故郷である飯山市を訪問されると共に「満蒙開拓平和記念館」建設予定地である阿智村の来訪を希望され、講演会もしていただけることとなりました。

*講演は日本語でおこなわれます

ポール邦昭丸山氏

1941年東京生まれ。アメリカコロラド州在住。

アメリカの大学を卒業後、米空軍に入隊。退役後はコロラド州の大学で日本語講師を務める傍ら、南コロラド日米協会会長として活躍。

2008年日本外務大臣表彰。

昨年、父・邦雄氏らの活動を題材とした著書「Escape from Manchuria」出版。

問い合わせ：満蒙開拓平和記念館事業準備会

電話・FAX 0265-43-5580